

事業名	海外県人対策費	財務コード (事業)	110904
-----	---------	---------------	--------

細事業名	海外県人会等活動促進事業費補助金
------	------------------

担当部課室	観光 部 国際交流 課 国際交流 担当 (内線)	4412
-------	--------------------------	------

事業の概要

実施期間	始期 S51 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	補助(公益財団法人国際交流協会)		
事業の目的	誰(何)を対象に 海外県人会(ブラジル山梨県人会、ペルー山梨親睦会)	その対象をどのような状態にして 活発に活動している。	結果、何に結びつけるのか 海外ネットワークを活用した本県の国際化施策の推進
	<p>事業の内容 主に 24年度</p> <p>事業内容 海外県人会(ブラジル山梨県人会、ペルー山梨親睦会)に対し、(公財)山梨県国際交流協会を通じて、海外県人会が行う本県の国際化施策の推進に資する事業に要する経費を補助する。 ・補助先:(公財)山梨県国際交流協会 ・補助率:定額 ・補助額:960千円 ・主な補助対象事業 本県からの訪問団の受入等本県との交流に係るもの 居住国における日本語、日本の文化・習慣等の紹介に係るもの 就労等のため来日を予定する居住国の国籍を持つ者に対し実施する、日本での円滑な社会生活の実現を目的とした指導・研修等 海外県人会の会員の集、会員同士の親睦・交流事業等、組織の維持・強化に係るもの 事務の流れ 海外県人会から(公財)山梨県国際交流協会へ補助金の交付申請 協会から県へ補助金の交付申請 補助金の交付決定 補助金の交付 協会から県人会へ補助金の支払い 県人会から協会へ実績報告書の提出 協会から県へ実績報告書の提出 補助金の額の確定</p>		
根拠法令等	海外県人会等活動促進補助金交付要綱		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と目標の実現度	23年度	24年度		25年度	26年度	事業目標の考え方	
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値		
活動指標	補助金を交付した1県人会あたりの年間イベント開催回数	14.5	15.5	16.5	15.5	15.5	<p>目標設定の考え方</p> <p>補助対象となった海外県人会のイベント開催回数の実績平均(直近過去3年間)</p> <p>データの出典等</p> <p>海外県人会等活動促進事業費補助金実績報告</p>
	活動指標達成率(実績値/目標値)	106.5 %					
成果指標	補助金を交付した海外県人会のイベントへの参加者数(1県人当たりの年間参加人数)	667	674	667	674	674	<p>目標設定の考え方</p> <p>補助対象となった海外県人会のイベント参加者数の実績平均(直近過去3年間)</p> <p>データの出典等</p> <p>海外県人会等活動促進事業費補助金実績報告</p>
	成果指標達成率(実績値/目標値)	99.0 %					
決算額、予算額	960		960	960	960	成果指標によらない成果	
(千円) うち一財額	960		960	960	960		
所要時間(直接分)	24 時間		24 時間	24 時間	24 時間	海外と本県とのネットワークの維持を図っている。 ブラジルミナスジェライス州姉妹県州締結40周年記念事業や海外技術研修員受入事業の実施にあたり、現地のネットワークを活用して積極的に協力してもらっている。	
所要時間(間接分)	0 時間		0 時間	0 時間	0 時間		
所要時間計	24 時間		24 時間	24 時間	24 時間		
人件費コスト 単位:千円 (@2,050円×所要時間)	49		49	49	49		

これまでの事業の見直し・改善状況

平成22年度に要綱改正を行い、対象事業経費の1/5以上を県人会が負担することとした。
平成23年度にメキシコ山梨県人会への補助を廃止し、補助対象となる県人会を削減した。

活動量と成果の判断(平成24年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか。(「活動指標の達成率」等から、事業の活動量を判断)

数値判定 H24年度 活動指標 達成率	活動量に係る 一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 数値判定と一次評価とが異なる場合等に記入すること イベントの開催による活動指標達成率は106%であり、補助金を基に本県との絆の維持につながる活発な活動を行っていると思われる。
b	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上)。 b: 予定どりの活動量がある(80%以上120%未満)。 c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)。 d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)。

(2) 事業は意図した成果を上げているか。(「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)

数値判定 H24年度 成果指標 達成率	成果に係る 一次評価	成果に係る一次評価の考え方 必ず記入すること イベント参加者数による成果指標達成率は99%であり、海外県人会の組織の活性化に役立っているものと認められ、意図した成果を上げている。 また、ブラジルミナスジェライス州姉妹県州締結40周年記念事業や海外技術研修員受入事業の実施にあたり、現地のネットワークを活用して積極的に協力してもらっており、成果指標によらない成果も挙げている。
b	b	

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)。 b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)。 c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)。 d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)。

見直しの必要性(平成26年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部評価結果)

見直しの必要性	説 明	以外の判断項目
無		

・「以外の判断項目」の欄
必要性(a.目的の達成 b.新たな課題への対応 c.対象の変化 d.ニーズの変化 e.法律・制度の改正) 官or民(f.民間等実施) 官の役割分担
(g.市町村等へ移管) 効率性(h.外部委託 i.経費節減 j.類似事業と統合・連携 k.所要時間の縮減 l.プロセスの改善) m.その他

二次評価(担当部局再評価結果) 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価

見直しの必要性	説 明	以外の判断項目

・「以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする。

見直しの方向(平成26年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等
現行どおり	

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。なお、見直しがない場合は、「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。